

いざという時に備えて

横浜市は平成16年7月に、地震、風水害などに備えて、市民が対策を立てるためのガイドブック「いざという時に備えて」（24ページ）を発表しました。防災通信では、本号から数回に分けて、地震対策の部分をご紹介します（◎部分はハイツ防災隊が追加した部分です）

次号では、「地震が起きたらどうする」を取り上げる予定です。

1 わが家をチェック

災害時は、自分の身を自分で守ることが大切です。いざというときのために、十分な備えをしましょう。

<家の中では>

(1) 家具の転倒防止

- ・家具は、壁に密着させて固定する。
- ・転倒防止器具は大きさにあったしっかりしたものを取り付ける。
- ・積重ね家具は、つなぎ目をしっかり留めておく。
- ・寝る場所やこども・お年寄りがいる場所には、できるだけ家具などは置かないようにする。

(2) 落下物の整理点検

- ・重い物は高いところに置かない。
- ・照明器具、エアコン、絵画、額縁などは落下防止策をする。
- ・観音開き戸に留め金をつける。
- ・棚には、物が飛び出さないように、滑り止めなどをつける。
- ・食器棚などのガラス戸にはガラス飛散防止フィルムを貼る。

(3) 安全、迅速な避難のために

- ・廊下や玄関は、物を置かず広く開けておく。

◎ベランダ、階段には物を置かないようにしましょう。

2 わたくしたちの町は私たちの手で

阪神・淡路大震災では、地域ぐるみの消火活動や炊出しなど地域での助け合いの大切さがあらためて分かりました。みんなで協力して、自分たちの町は自分たちで守りましょう。

(1) とおり近所の助け合い

- ・いざというとき、助けあうことができるよう日ごろからの付き合いを大切にしましょう。
 - ・障害や高齢により、災害発生時に避難行動など臨機応変に対応することが難しい人たちの身の安全を守るために、地域で協力できる体制をつくっておきましょう。
- ◎各階段(班)で日ごろから安否確認方法、避難方法を話し合ひましょう。

(2) 日ごろの活動

- ・防災知識を高める 防災についての知識を身につけるため、防災訓練に積極的に参加しましょう。
- ・防災訓練への参加 応急救護訓練、初期消火など、いざというときに役立つ訓練を行い、防災活動に必要な知識や技術を習得しましょう。

(3) いざというときは

- ・出火防止・消火 まず各家庭で火の始末をします。火災が発生したら、とより近所で協力して初期消火に努めましょう。
- ・救援・救護 倒れてきた家や家具の下敷きになった人を救出したり、けがをした人など救護を必要とする人たちの救護活動を行いましょう。

県ハイツに震度 4 (推定) の地震が！

7月23日(土)16時35分ごろ、千葉県を震源とする地震が首都圏を襲い、横浜市の一部では震度5弱を記録しました。

県ドリームハイツも震度4程度と推定されるかなり大きなゆれに襲われました(棟および階段によってゆれの状況が異なっていたようです)。

多くの階段でエレベータが停止し、ご不便を感じられた方も多いと推定されます。今回は幸い閉じ込め事故は発生しなかったようです。

また、県ハイツの一部ではガスが止まったところもあったようです。

エレベータのメンテナンスを委託している三菱電機ビルテクノサービス(株)のサービスマンが、17時15分頃には復帰のための点検作業を開始しました。

☆ 約3時間後の20時過ぎには、すべてのエレベータが復帰しました。

改修が終了したときのエレベータの新機能 (11月末には全工事完了予定)：

- ・ 屋上のエレベータ機械室には地震のゆれを計るために、S波地震感知器が設置され、その中には、2つの加速度計が設置してあります。(60ガル、100ガル)。
- ・ **60ガルの加速度計が作動**してエレベータが停止したとき、1分以内に自動復帰します。
- ・ ゆれが大きく**100ガルの加速度計も作動**した場合、エレベータはサービスマンが点検するまで復帰しません(ガル；加速度の単位。大きいほどゆれ大)。
- ・ 閉じ込め事故防止のために、地震発生の場合は最寄り階に停止する機能が付いています。
- ・ ハイツ内の78台のエレベータは、情報センターにおいて24時間体制で、運行状況が監視されています。

・ 停電などによる異常な停止状態により、閉じ込めが発生する場合があります、このとき監視機能が働き、自動的に情報センターに通報されます。

- ・ 異常な停止をしてから数分以内に、エレベータのかご内に設置してあるインターフォンから状況を尋ねてきますので、落ち着いて応答してください。

加速度と震度の関係 (概略)

震度	加速度 ガル(gal)
震度4	40-110
震度5弱	110-240
震度5強	240-520
震度6弱	520-830
震度6強	830-1,500
震度7	1,500以上

(国土交通省のホームページより)

第2回 家具転倒防止講演会開催(7月31日)

- ・ 家具の転倒防止方法に関する講演会および実演会が開催され約40名の住民が参加しました。これは、1月に開催された第1回講演会(約150名参加)に続いて開催されたものです。
- ・ 当日、戸塚消防署深谷出張所 竹之内所長による心停止状態の患者に対処するための「除細動器」の扱いに関する救助実演指導会が行われました。

大きな地震が発生したときのトイレ使用について：

汚水排水システムのひび割れ等がないことが確認されるまで絶対に使用しないでください。下の階の方が迷惑します。地震発生後のトイレ対策については防災隊で検討しています。

対策がまとまり次第お知らせします。

防災通信は防災ファイルへ閉じておいてください